

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 3 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	平戸市公共施設等における再生可能エネルギー設備導入可能性調査事業									
補助事業者名	長崎県平戸市									
補助事業の概要	<p>本市の地域資源である太陽光や森林資源等を活かした再生可能エネルギーにより地域脱炭素の実現を図るためエネルギーの地産地消を図るとともに、発電や熱利用等の収益を地域内に還元させる地域ビジネスを創出し雇用増や地域産業振興を図るため、昨年度、策定したエネルギー構造高度化等に向けたビジョン「平戸市地域脱炭素ロードマップ（令和 4 年 3 月）」の取組の内、「②公共施設等のゼロカーボン」、「⑨木質バイオマス熱利用の推進」、「⑩木質バイオマス利用の拡大」の具現化のために対象施設の実地調査および事業化可能性調査（FS 調査）を実施し、持続可能な地域社会を構築すること目的とし早期に着手するための実施計画を策定した。（平戸市地域脱炭素実行計画（実施計画書））</p>									
総事業費	15,268,210 円									
補助金充当額	15,268,210 円									
定量的目標	<p>・ 行政が先導的に取り組むゼロカーボン化や地域の特性を活用した取組を具体的に事業化し取組むことで、市民に対する再エネ導入に対する意識の変化や環境に配慮した行動への変容が醸成される。</p> <p>・ 太陽光発電設備や木質バイオマス熱利用・発電設備の導入の実地調査や事業化可能性調査により、2030 年までの「公共施設等のゼロカーボン」、「木質バイオマス熱利用の推進」、「木質バイオマス利用の拡大」の具現化のための実施計画を策定する。またその具現化のデータとなるため、昨年度に策定したビジョン「平戸市地域脱炭素ロードマップ」の「②公共施設等のゼロカーボン」、「⑨木質バイオマス熱利用の推進」、「⑩木質バイオマス利用の拡大」の取組のエネルギー削減量や CO2 削減量を定量的な成果目標として設定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">調査項目</th> <th style="width: 70%;">成果目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(a) 太陽光発電設備の実地調査および事業化可能性調査</td> <td>           導入目標年度：2030 年度まで            対象施設：公共施設 20 施設            エネルギー削減量：電気 4,590kW            CO2 削減量：電気 2,295t-CO2/年（1kW 当り 0.5t-CO2/年と想定）         </td> </tr> <tr> <td>(b) 木質バイオマス熱利用設備の事業化可能性調査</td> <td>           導入目標年度：2050 年度まで            対象施設：公共施設 3 施設、民間施設 7 施設            エネルギー削減量：熱 16,668,767MJ/年            CO2 削減量：熱 1,181t-CO2/年         </td> </tr> <tr> <td>(c) 木質バイオマス発電設備の事業化可能性調査</td> <td>           導入目標年度：2050 年度まで            対象施設：1ヶ所            エネルギー削減量：電気 1,000kW、熱 4,768,243MJ/年            CO2 削減量：電気 2,450t-CO2/年、熱 338t-CO2/年、計 2,788 t-CO2/年         </td> </tr> </tbody> </table>		調査項目	成果目標	(a) 太陽光発電設備の実地調査および事業化可能性調査	導入目標年度：2030 年度まで 対象施設：公共施設 20 施設 エネルギー削減量：電気 4,590kW CO2 削減量：電気 2,295t-CO2/年（1kW 当り 0.5t-CO2/年と想定）	(b) 木質バイオマス熱利用設備の事業化可能性調査	導入目標年度：2050 年度まで 対象施設：公共施設 3 施設、民間施設 7 施設 エネルギー削減量：熱 16,668,767MJ/年 CO2 削減量：熱 1,181t-CO2/年	(c) 木質バイオマス発電設備の事業化可能性調査	導入目標年度：2050 年度まで 対象施設：1ヶ所 エネルギー削減量：電気 1,000kW、熱 4,768,243MJ/年 CO2 削減量：電気 2,450t-CO2/年、熱 338t-CO2/年、計 2,788 t-CO2/年
調査項目	成果目標									
(a) 太陽光発電設備の実地調査および事業化可能性調査	導入目標年度：2030 年度まで 対象施設：公共施設 20 施設 エネルギー削減量：電気 4,590kW CO2 削減量：電気 2,295t-CO2/年（1kW 当り 0.5t-CO2/年と想定）									
(b) 木質バイオマス熱利用設備の事業化可能性調査	導入目標年度：2050 年度まで 対象施設：公共施設 3 施設、民間施設 7 施設 エネルギー削減量：熱 16,668,767MJ/年 CO2 削減量：熱 1,181t-CO2/年									
(c) 木質バイオマス発電設備の事業化可能性調査	導入目標年度：2050 年度まで 対象施設：1ヶ所 エネルギー削減量：電気 1,000kW、熱 4,768,243MJ/年 CO2 削減量：電気 2,450t-CO2/年、熱 338t-CO2/年、計 2,788 t-CO2/年									
補助事業の成	本年度の FS 調査を通じ、関係団体等との協議を重ね脱炭素化に向けた短中期的									

<p>果及び評価 (事業毎にあ らかじめ設定 した事業目標 を達成したか など)</p>	<p>な実行計画(実施計画)を策定した。具体的には、実現可能性が高い事業が見いだせたこと、及び施設整備の方向性(施設規模等)が示され、当計画で取り纏めた計画を着実に実現していくことがエネルギーの高度化・脱炭素化に繋がり、基幹産業(第一次産業)の振興、雇用創出とつなげていくことができる。併せて本事業結果に基づき行政が先導的・率先した再生可能エネルギーの導入や利活用に取り組むことで、民間事業者や市民に対する行動変容に繋がっていくことが期待できる。今後、当該FS調査(実行計画)が本市の2030年度の温室効果ガス60%減、2050年度のゼロカーボンの実現、エネルギーの高度化の指針・基礎となり、具体的な事業化、エネルギーの高度化に向けた取組が加速していく。</p>	
<p>補助事業の実 施に伴い締結 された売買、 貸借、請負そ の他の契約 (※技術開発 事業のみ:間接 補助を行った 場合は、間接補 助先を記載)</p>	<p>契約(間接補助)の目的</p>	<p>平戸市地域脱炭素実行計画策定業務(公共施設のゼロカーボン化に向けた事業可能性調査)</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約(プロポーザル方式)</p>
	<p>契約の相手方(間接補助先)</p>	<p>株式会社 EECL</p>
	<p>契約金額(間接補助金額)</p>	<p>15,059,000円</p>
<p>来年度以降の 事業見通し</p>	<p>当該事業によって策定した平戸市地域脱炭素実行計画(重点プロジェクト)を、本市の脱炭素化、エネルギーの構造化に向けた先導的に取り組む事業として、公共施設のゼロカーボン化やエネルギーの地産地消に向けた施設整備等を今後、検討していく。</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。